

研究課題名	2018-035 院外心肺停止患者における CT の有用性に関する多施設共同研究
実施責任者	名古屋掖済会病院 救急科 医員 前田遥
研究の概要	<p>院外での CPA（心肺停止）において、その原因疾患の分布を調査した研究はこれまでに少なく、どのような患者に CT を撮る意義があるのかも明らかではありません。</p> <p>今回電子カルテシステムより情報を収集して、藤田医科大学、名古屋医療センターと共同で検討を行ないます。</p> <p>この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。</p>
実施の期間	<p style="text-align: right;">2015年 4月 1日 より</p> <p style="text-align: right;">2018年 3月31日 まで</p>
研究対象	<p>上記の期間に、院外 CPA で救急搬送された 18 歳以上の患者様のうち、頭部・胸部・腹部 CT のいずれかが行われた方が対象となります。外傷と自殺は対象に含みません。</p>